



講演する石井会長

会演
土木学会
が
土井
石井
会

公共投資削減に警鐘 河川、道路調査し議論喚起

土木学会は13日、広島県東広島市の広島大学東広島キャンパスで、会長基調講演とパネルディス

カッションを開いた。大ついて、マスメディアに
会実行委員長の中村謙友
による間違った報道、談合
国土交通省中国地方整備
局長は、開会のあいさつ
で1981年に米国で出
版された『荒廃するアメ
リカ』に触れ、「数字と
言葉を換えると、いまの
日本に当てはまる」と指
摘、これ以上の公共投資
削減に警鐘を鳴らした。
石井弓夫会長は、会長
提言特別委員会で検討し
ている社会資本の国政調
査・健康診断について、
中間段階の状況を報告し
た。石井会長は、公共事
業に対する国民の批判に
喚起したい」と強調した。

国民に社会資本の現状
を正しく理解してもらう
ために土木学会が、学術
的、中立的、客観的な立
場から調査して、問題点
を提起することにも、
「適正な公共投資の水準
について社会的な議論を
喚起したい」と強調した。

社会資本の調査・評価
については、米国、英国
の土木学会だけでなく、
オーストラリアや南アフ
リカでも既に実施してい
ることを紹介した。石井
会長は、こうした活動を
通じて、「土木技術者が
社会的に発言することが
最大のポイントだ」と強
調した。パネルディスカ
ッションは、中村局長を
コーディネーターに、大
会のテーマである「人口
減少下における地域の活
力向上をめざして」と題
して議論した。